

月刊



平成30年9月1日発行 通巻272号
 昭和40年8月21日第3種郵便物認可
 発行/公益社団法人 滋賀県建築士会
 〒520-0801
 滋賀県大津市におの浜 1-1-18 建設会館 3F
 TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

公益社団法人 滋賀県建築士会

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : shiga-sa@mx.bw.dream.jp

湖国が滋る・水と緑の街づくり

CONTENTS

- 2
- 第21回「日・韓・中建築士協議会」
大阪会議「オープン・セッション2018」
—各国の超高層設計—
- 青年委員会
あーき塾
基礎から学ぶスマホでカメラ講座
- 女性委員会..... 3
DoシリーズNo.78
『誰もが最後まで村で暮らす』ための
新たな集落づくり
～十津川村の取組みに学ぶ～
- 女性委員会..... 4
平成30年度 第28回全国女性建築士
連絡協議会 参加報告
- 青年委員会..... 5
あーき塾 画像編集を学ぶ
建築ビジュアル講座Vol.2 事業報告
- 地区だより
- ポリテクカレッジからのお知らせ・・ 6
- 地区別会員数
- 9月の暦
- 滋賀の酒蔵・伝統と文化を訪ねて
第27回
畑酒造 有限会社 (東近江市小脇町)



畑酒造 有限会社 母屋兼店舗

畑酒造は永源寺と近江八幡を繋ぐ八風街道沿い、東近江市小脇町にある1914年(大正3年)創業の酒蔵である。太郎坊山と呼ばれる霊山・赤神山の麓にあり、初代 畑大治郎氏によって創業された。2年前整備され車の往来が多くなった八風街道、仕込み蔵のすぐ南を走る近江鉄道、その回りに広がる田園風景は、敷地内にある重厚な母屋兼店舗や4棟に連なる木造酒蔵と美しく馴染んでいる。さらに地下90mまで掘られた愛知川系伏流水の井戸は良質かつ豊富に湧き出ている。

写真は北から見た八風街道沿いに面し、戦中築という母屋兼店舗である。右側が母屋、中央1階が店舗の事務所、右側が吹き抜けのある出荷の作業場である。近くに軍用空港があったことから街道が専用道路として拡幅されたためにこの建物が建てられた。店舗や事務所内部は戦中築とは思えない程、酒蔵に相応しい美しい弁柄塗りが施された風情溢れる空間となっている。

畑酒造の醸す大治郎のコンセプトは、造り手の顔が見える酒。香りは控えめにインパクトのある旨味と酸が広がりながら、後切れが良く飲み続けられる味が特徴である。こだわりの一つが米作りであり、原料米は全て地元契約農家「吞百姓の会(どんびゃくしょうのかい)」が作っている。蔵元杜氏となられた2010年からは吞百姓の会の一員として蔵人達と自社田での米作りを始めた。酒造りに使用する米の全量を賄う農醸一貫は県内唯一のこだわりである。
(前谷吉伸)

第21回「日・韓・中建築士協議会」大阪会議 「オープン・セッション2018」—各国の超高層設計—



21回目を迎える「日・韓・中建築士協議会」は、大阪府大阪市で開催します。

大阪会議では、3カ国の研究や発表プログラムを予定していますが、その一部を建築士会会員の方はもとより、学生・一般の方にもご参加いただけるオープン・セッションとして企画いたしました。

3カ国の国際プレゼンテーションやパネルディスカッションを体験するチャンスです。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日時：平成30年10月19日(金) 9:30~11:30 (9:00より受付)
会場：ホテルイビススタイルズ大阪/オペラ (〒542-0084 大阪市中央区宗右衛門町2-13)
参加料：無料 (連合会HPから要事前登録。定員になり次第締め切り)
申込先：(公社)日本建築士会連合会HPから (<http://www.kenchikushikai.or.jp>)
TEL:03-3456-2061 担当/早川、渡辺
主催：(公社)日本建築士会連合会 **共催：**大阪府建築士会

オープン・セッション「各国の超高層設計」

- 1.日本・韓国・中国の技術者からの発表
【日本は、株式会社竹中工務店の技術担当者様から「あべのハルカス」の説明を予定しています。】
- 2.各国の技術者によるパネルディスカッション【各国の発表者+aによるパネルディスカッション】
- 3.日・韓・中建築士協議会のまとめ他

※発表は英語で行いますが、日本語の資料をご用意いたします。

※パネルディスカッションおよび質疑応答には、簡単な翻訳を行います。

青年委員会

あーき塾

基礎から学ぶスマホdeカメラ講座



一番身近にあるスマートホンカメラを使ったカメラ講座を開催します。プロフォトグラファーの講師をお招きし、基本の設定や操作をはじめ、画像加工アプリでの加工技術を学びます。また、体験型として長浜の建築等の町並みを撮影し、プロの目線からアドバイスを頂きます。インスタ映えするような写真技術を学び、ビジネスでの情報発信や集客につなげましょう。みなさまのご参加をお待ちしております。

開催日時：平成30年9月28日(金) 14:00~17:00
会場：長浜旧開知学校
参加費：建築士会会員 500円
 建築士会非会員 1,000円
定員：20名(先着順)
申込締切：平成30年9月26日(水) CPD: 2単位(予定)
講師：フォトグラファー 小堀美沙紀氏

講師プロフィール：小堀美沙紀氏

京都府在住 関西を中心に撮影やフォトレッスンで活動中。
 企業等で、ビジネスに使える伝わる写真・スマホカメラ講座を開講。
 大阪ラジオ番組FMハイホーにも出演。
 撮る・撮られるを学び、出逢えた想いを伝える講座を講演。



※滋賀県建築士会HP <http://www.kentikushikai.jp/> 【参加申込】からもお申込み頂けます。

参加申込用紙

青年委員会 あーき塾 基礎から学ぶスマホdeカメラ講座

氏名	フリガナ	勤務先名称	フリガナ
連絡先	メールアドレス	携帯電話	● 会員
	FAX番号		● 非会員
CPD番号		地区名	

※取得した個人情報に関しましては、今回の事業以外に使用いたしません。

お申し込みはFAXにて…公益社団法人 滋賀県建築士会 事務局 (FAX.077-523-1602) (お問い合わせは…TEL.077-522-1615)

社会的課題の解決方法やストック社会に向けて、建築士として知っておくべきことを主眼においた継続セミナー。今回は、奈良県十津川村で、被災を機に「村」の再生、新たな集落づくりへと繋がった復興への取組みを学びます。集落景観に配慮し、建設された木造復興住宅、復興公営住宅、高齢者向け住宅棟など十津川村役場技師 乾耕輔氏と設計監理担当者 (株)アルセッド建築研究所 益尾孝祐氏の説明を受けながら、再生された集落の原状を視察研修します。



高森集落・写真提供: 奈良県十津川村

近畿建築士連絡協議会女性部会 主催/企画 第4回くらしとすまいをみつめる 事業に、女性委員会DoシリーズNo.78として参加いたします。

開催日：平成30年11月2日(金)～3日(土)

行先：奈良県十津川村

募集人数：20名

集合場所：近鉄大和八木駅 10時出発

講師：(株)アルセッド建築研究所 益尾孝祐氏

案内：十津川村施設課指導技師 乾 耕輔氏

申込締切：平成30年9月15日(土)

CPD単位：6単位(申請中)

参加費：滋賀士会会員 15,000円

会員外 25,000円

1泊2日夕・朝食付き、昼食2回付

交通費込(移動はマイクロバス)

大和八木駅までは自己負担となります。

行程 ※天候等の事情で変更になる場合がございます。

1日目

10:00 近鉄大和八木駅集合

↓

12:00 谷瀬吊り橋
十津川村到着・昼食

↓

13:00 谷瀬集落見学

↓

モデル住宅 見学

↓

18:00 高森集落見学 とレクチャー
宿

2日目

9:00 果無集落見学

↓

武蔵集落見学

↓

12:00 昼食

↓

15:00 五條新町 重要伝統的建造物群保存地区見学

↓

17:00 近鉄大和八木駅解散

※滋賀県建築士会HP <http://www.kentikushikai.jp/> 【参加申込】からもお申込み頂けます。

女性委員会 Doシリーズ No78 『誰もが最後まで村で暮らす』ための新たな集落づくり 参加申込用紙

氏名	フリガナ	勤務先名称	フリガナ
連絡先	メールアドレス		● 会員 ● 非会員
	FAX番号	携帯電話	
CPD番号		地区名	

※取得した個人情報に関しましては、今回の事業以外に使用いたしません。

お申し込みはFAXにて… 公益社団法人 滋賀県建築士会 事務局 (FAX.077-523-1602) (お問い合わせは… TEL.077-522-1615)

■全体報告

7月28日(土)～29日(日)、第28回全国女性建築士連絡協議会 高知大会が、高知県立県民文化ホールにて開催されました。開会前に開かれた、全国女性委員長会議では、各府県の取組み、活動内容、委員会活動する上での課題などを報告し合い、情報を共有しました。

今回のテーマは「未来へつなぐ居住環境づくり」～1周おくれで先頭に 伝統こそ最先端～。大会1日目は、三井所会長のご挨拶に始まり、3.11から継続している被災地の現状報告が宮城県、福島県、熊本県からありました。また、本年6月18日に発災した大阪府北部地震での建築士の対応について、早々に、大阪府から報告がありました。続いての基調講演は、大会テーマそのものを演題とし、“土佐派の家”で著名な山本長水（やまもとひさみ）氏にご講演頂きました。木造建築の知恵と伝統、土佐和紙、土佐漆喰と言った自然素材で構成された空間美、機能美は居住環境にも配慮されたパッシブデザインの先端でもありました。

大会2日目は、「防災への取組み」「建築女子がきづく未来」「歴史的建造物と建物再生」「会員拡大に向けた取組み」「自治体連携とまちづくり」「地産材活用の取組み」「高齢社会と住まい」「既存民家の活用」、以上8つの分科会に分かれて、活動事例報告及び意見交換を行いました。その後、全体会として、分科会報告、全体講評の後、連合会女性委員長小野氏の大会アピール宣言で閉会いたしました。

全国女性建築士 約300名が集結する通称 全建女。今回も濃密な時間を過ごしました。特に、1日目夜の部 大交流会では高知県建築士会青年委員会・女性委員会が手厚く歓待して下さいました。全国に仲間の輪が広がり、情報が増え、視野が広がりました。得たモノを還元していきたいと思います。



高知県立県民文化ホールにて

■C分科会：「歴史的建造物と建物再生」 参加報告

コメンテーターは、大阪府建築士会 曾我部千鶴美さん。住吉大社をはじめ伝統的な建築物が点在し、いくつもの旧街道が通る住吉区の歴史や文化などを未来に伝えるため、2011年、建築士が中心となり「住吉蔵部」を発足されました。まちのシビックプライド（わがまち自慢）とも言える住吉区の蔵を全数実測調査し、翌年2012年に「すみよし蔵ものがたり」の冊子を発刊、その5年後2017年に「すみよし蔵ものがたり2」を発刊された活動報告です。

調査当初には106棟あった蔵が2015年には97棟になり、このまま放置すると町並みが変わってしまうという危機感の中、住吉区の歴史を紐解き、会話を交わす中で意識改革（価値の再発見）に寄与し、冊子づくりを通じて情報の共有化、職人の技や智慧の紹介・継承を綴っていき、価値観の再発見の中で現代に活用する事を模索しています。

意見交換では、保存・再利用提案の難しさと、ゆっくりであっても活動を続ける事の大切さが話し合われる中、この分科会のテーマである「歴史的建造物と建物再生」は、全建女の中で20年以上も多くの人々が関わり継承してきた活動なので、この活動内容を、もっと外部に向けて発信する必要があるのでは？との意見も出されました。継承の大切さとアピールの重要性を感じた分科会でした。



すみよし蔵ものがたり2の冊子

7月26日(木)旧大津公会堂にて、あーき塾「画像編集を学ぶ 建築ビジュアル講座Vol.2」を開催いたしました。2回目となる今回の講座では「仕事に役立つチラシの作成」をテーマに住宅の完成見学会の案内チラシの作成に取り組みました。

講師には昨年に続き、(公社)日本グラフィックデザイナー協会会員の、有限会社ウエスト・伊藤アートディレクターをお迎えし、午前は編集ソフトの基本操作の習得を、午後からは複数の素材データを加工編集し、一つのデータに合成しチラシの完成までを目指しました。

伊藤講師には一つ一つ分かりやすく操作の説明をしていただき、またアシスタントの方が会場を回られ、参加者からの質問にその都度答えていただいたおかげで、初めてソフトを使う方も最後まで課題に取り組むことができました。操作に慣れた参加者の中には独自のアレンジを加えたチラシを作成されている方もみられました。長時間の講座でしたが、みなさん集中して取り組まれ、充実したものになってのではないのでしょうか。この講座で学ばれたことをこれからの業務に役立てていただければと思います。

青年委員 梅田 稔之



課題チラシ作成



熱心に取り組む参加者

地区だより

湖北地区

第2回 勉強会 報告書

平成30年7月23日(月)、近畿大学建築学部初代学部長の岩前篤史先生をお招きして「健康と省エネ 家づくりセミナー」をテーマに勉強会を開催させていただきました。健康寿命を根幹とし、そうあるための基本となる環境問題について大変ユーモラスで分かりやすくお話いただき、またデータ分析についても深く掘り下げられておりその内容に納得したり、考えさせられたりと、誰もが聞き入ってしまうような勉強会でした。すべて印象的でしたが、「快適≠健康」というワードは特にハッとさせられる箇所でした。年月を重ねる毎に新しい環境問題も生まれてくるものだとの話からもこの問題は永遠に続くのだろうと思ひ知らされました。勉強会開催に至るまで、そして当日に於いてご尽力いただきました関係者様各位にお礼申し上げます。ありがとうございました。



岩前教授による講義



受講者の皆さん

親睦事業

手ぶらでラクラク! 家族バーベキュー大会

7月22日(日)米原市多和田にあるローザンベリー多和田で、湖北地区委員会・賛助会・長浜建築施工管理技士会合同の「手ぶらでラクラク! 家族バーベキュー大会」を開催しました。連日の猛暑の中、まずは大村代表による「熱中症に注意しましょう。ビールを飲んだら、水やスポーツドリンクも飲んでね!」との挨拶で乾杯。

屋根があるとはいえ、暑~いBBQ会場。お肉に野菜・チーズフォンジュを堪能し汗をかけた最後には、かき氷やソフトクリームが大人気でした。毎年恒例となって参りましたが、今年は約60人の方に参加していただき、盛大に盛況に終えることができました。

来年も企画し、家族やスタッフ、建築士会の仲間と語り合える親睦の場になればと考えています



お茶やビールで乾杯



暑い中、BBQ。いよいよ開始

滋賀職能大からのお知らせ



コースNo	コース名	受講料	定員	実施日	講習時間帯
CH051	木造住宅の省エネ設計技術	¥8,000	10	9/14(金)、15(土)	9:30~16:30
CH011	ネットワーク工程管理技術	¥7,000	10	9/18(火)、19(水) 日程変更!	9:30~16:30

各講座ともCPD認定プログラム申請コースです。

お申し込みは各コースとも開始日の1カ月前までです。お早めにお申し込み下さい。

開始日1カ月前未済で受講を希望される場合は下記学務援助課へお問い合わせください。

講座の内容については

http://www3.jeed.or.jp/shiga/college/business/seminar_h29.html

(電子パンフレット、建築・住宅関係コース、各講座の詳細へのリンクもあります)

ネットでの受講申し込みは

http://www3.jeed.or.jp/shiga/college/business/seminar_form_mousikomi.html

受講申込書のダウンロードは

<http://www3.jeed.or.jp/shiga/college/business/pdf/H29/entry2017.pdf>

「オーダーセミナー」のご相談を承ります。

職場やグループ単位での独自研修会「オーダーセミナー」の企画立案のお手伝いをいたします。下記「学務援助課」までお問い合わせください。

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
〈厚生労働省所管〉近畿職業能力開発大学校附属

滋賀職業能力開発短期大学校(滋賀職能大)

www3.jeed.or.jp/shiga/college/

〒523-8510 滋賀県近江八幡市古川町1414

学務援助課

TEL: 0748-31-2254

FAX: 0748-31-2255

地区別 会員数 平成30年 8月1日現在	支部	大津	湖南	甲賀	湖東	彦根	湖北	高島	湖西滋賀	計	新入会員	
	7月	207	151	80	114	90	134	65	25	866	地区	氏名
	8月	205	151	80	113	89	89	133	65	25	861	甲賀
	差引	▲2	0	0	▲1	▲1	▲1	0	0	▲5	大津	南 昌宏

9月の暦

日	月	祝祭日	行事	日	月	祝祭日	行事
1	土	仏滅	女性委員会 DoシリーズNo.77 高島青年委員会 まち歩き in 高島	9	日	赤口	二級建築士試験 製図試験
2	日	大安		10	月	友引	
3	月	赤口		11	火	先負	
4	火	先勝	既存住宅状況調査技術者講習「新規」	12	水	仏滅	第2回「定期講習」・「監理技術者講習」
5	水	友引		13	木	大安	四役・委員長会議
6	木	先負	情報広報委員会	14	金	赤口	既存住宅状況調査技術者講習「移行」
7	金	仏滅		15	土	先勝	
8	土	大安	近建青「滋賀会議」ヘリテージマネージャー育成講座 第2回	16	日	友引	
				17	月	先負	敬老の日
				18	火	仏滅	
				19	水	大安	まちづくり委員会
				20	木	赤口	女性委員会
				21	金	先勝	
				22	土	友引	ヘリテージマネージャー育成講座 第3回
				23	日	先負	秋分の日
				24	月	仏滅	振替休日
				25	火	大安	
				26	水	赤口	総務企画委員会
				27	木	先勝	
				28	金	友引	
				29	土	先負	
				30	日	仏滅	

滋賀の酒蔵・伝統と文化を訪ねて 第27回 畑酒造 有限会社(東近江市小脇町)

写真は北東から見た全景、木造蔵4棟である。左から戦後築のタンクの並ぶ平屋の現仕込み蔵。中央の2棟は戦中築の敷地内で最も古い蔵で、手前の平屋の棟には麹室と分析室、奥の2階建て棟は旧仕込み蔵で、現在は1階が一時タンクと製品置き場、かつて酒母場2階は物置となっている。一番右の平屋の蔵は、戦後小学校から移築されたという建物で、現在は瓶詰め場になっている。内部を見上げると柱や梁に移築の跡が残っている。丁寧にメンテナンスされ思い描く木造蔵の美しさを保ち続ける蔵で人々に感動を与える銘酒が醸されている。

代表銘柄「大治郎」「喜量能(きりょうよし)」

(前谷吉伸)

